

# うるま

## 市議会 だより

第31号

平成25年(2013)  
発行 3月1日



(うるま市男女共同参画宣言都市記念式典)

### 一般質問 (12月定例会)

12月定例会には28名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

誌面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

### 目次

一般質問	2
四常任委員会行政視察	16
第74回12月定例会議決結果	18
第8回 うるま市生涯学習フェスティバル	19
27名の子ども議員が質問しました	20



一 基地問題について

田中直次

一 基地問題について

質問 米軍発行の「大きな輪」について、今回の表紙は、沖繩の子供にあたかもオスプレイを想定させるおもちゃのブロックでヘリコプターの形を作った。非常識では。

答弁 当問企画部長 女性海兵隊員と児童園の園児との交流の一場面を映し出したものである。

質問 オスプレイについて、うるま市での訓練計画は。

答弁 当問企画部長 米軍の環境レビューによると、本市にはキャンプコートニーとホワイトビーチに管理着陸帯があり、年間四回以下の使用回数と記載されている。

質問 飛行ルートはどうなっているか。

答弁 当問企画部長 照間上空が二回、与那城上空を一回飛行しているとの情報が寄せられている。

質問 米軍機が引き起こした事故にはどのようなものがあるか、被害者の数等も伺う。

答弁 当問企画部長 宮森小学校の墜落事故で18名が死亡、210名が負傷。川崎のジェット戦闘機の墜落事故では2名の死亡と4名の負傷者が出ている。

質問 1995年の少女暴行事件以降、米軍人による婦女暴行事件は、また部隊は。

答弁 当問企画部長 平成14年11月と平成20年の少女暴行事件の2件にうるま市の軍人が関わっている。

質問 (米軍)基地を全面撤去すべき米軍犯罪からうるま市民の命を守る方法はそれしかないと考えますが。

答弁 当問企画部長 現存の基地に対しては整理縮小との考えである。

質問 米軍基地の日本駐留は(日本の)憲法違反だと思うが、見解を伺う。

答弁 島袋市長 恒久平和を希求する共通の認識に立ったものという事だと解釈している。

質問 国際法違反の軍用地収奪をどう見るか。これが沖繩問題の原点である。米国は1945年の(沖繩への)侵攻後、直ちに征服の権利によって必要な土地を手に入れた。沖繩の米軍基地は国際法違反の土地収奪という国際犯罪から出発してつくられたそれが問われている。

答弁 島袋市長 この2文字をとらえて、沖繩の問題を全て断言するという事はいかなるものかと、そういう事につきると私は思っている。

質問 安保を廃棄すべきだと思いが、見解を伺う。

答弁 島袋市長 日米安保条約の果たす現時点での重要性というものは増している、現実には言えるのではないかと思う。

一 アスファルト舗装道路切断作業時に発生する排水処理について

質問 排水に有害物質が含まれている物質とは。

答弁 登川市民部長 鉛、ヒ素、カドミウム。

質問 今までその排水を、どのように処理していたか。

答弁 久田建設部長 道路側溝等に流し処理していた。

質問 県が通知した取り扱い基準をどのように取り組まれているか。

答弁 久田建設部長 今年度工事より産業廃棄物処理基準に基づき、産業廃棄物業者へ適正に処理をしている。

二 与勝地域の給食センター統合について

質問 ①進捗状況②何年に統合。

答弁 仲田指導部長 ①建設予定地や規模等について検討を行っている状況②平成27年度を予定。

質問 照間の用地は非常に有効性がある。見解を伺う。

答弁 仲田指導部長 一つの候補地として検討している。

三 総合窓口事業(ワンストップサービス)について

答弁 榮野川副市長 59の自治体で実施している。

質問 本市で実施できる可能性は。

答弁 榮野川副市長 市内にあるコンビニが交付サービス事業に参入することがあれば導入を検討したい。

質問 限られた駐車スペースの有効活用になる。見解を伺う。

答弁 榮野川副市長 市民が住民票等の取得で来庁することが少なくない、窓口の混雑解消、住民サービス向上につながる。

五 公金徴収一元化及び債権管理条例制定について

質問 平成23年度決算における市税などの収入未済額の合計額。

答弁 榮野川副市長 29億円余り。

質問 ①現状をどのように考えているか②収入未済額の改善。

答弁 榮野川副市長 ①納付をきちんと行っている市民に対して、不公平を生じさせる憂慮すべき事態。②市税は滞納整理に取り組んでいく。

質問 ①専門スタッフを集めた部署で、公金徴収一元化というのは必要ではないか②債権の取り扱いは、統一的な処理基準を定め、公平かつ市民負担の確保と債権管理のさらなる適正化を図り、健全な行政運営を図ることを目的とする債権管理条例制定。

答弁 榮野川副市長 ①市税等は、現体制を維持して経過を見る。②債権の統一的な処理基準を定め、公正かつ公平な市民負担の確保を図るという目的で管理条例の制定に向け、今準備をしている。



- 一 アスファルト舗装道路切断作業時に発生する排水処理について
- 二 与勝地域の給食センター統合について
- 三 総合窓口事業(ワンストップサービス)について
- 四 住民票等のコンビニ交付事業について
- 五 公金徴収一元化及び債権管理条例制定について

仲本辰雄





一 通学路の防犯灯設置について  
 二 予防接種について  
 三 排水路設置について  
 四 第1回うるま市緑化祭について  
 五 市長の再出馬について

喜屋武正伸

一 通学路の防犯灯設置について

質問 高江洲小、中学校通学路の防犯灯設置が出来ないか伺う。

答弁 登川市民部長 自治会同士の予算の範疇における配分について検討が出来ないか、今後検討してみたい。

質問 特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して防犯灯設置が出来ないか伺う。

答弁 登川市民部長 当該交付金は毎年各部署で活用されており、事業計画を年次的に策定し、実施計画に計上していく事が必要と考えている。

二 予防接種について

質問 水痘、おたふくかぜの任意予防接種について、小児への公的補助が出来ないか伺う。

答弁 登川市民部長 ワクチン接種で病気や重症化を防ぐ事が大切と考え、公費助成で実施出来る様、前向きに検討したい。

三 排水路設置について

質問 県道33号線東側付近の市道に排水路の設置が出来ないか伺う。

答弁 久田建設部長 地域からの冠水対策改善の要請があり、現在この箇所の設計を終えており、工事については年度内に整備を終えたいと考えている。

四 第一回うるま市緑化祭について

質問 成果と課題について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 多くの市民に来場いただき緑化に対する意識啓発を図れたものと思う。課題としては、来場者から「苗木をもっと配布してほしい」、「無料体験コーナーや販売コーナーをもっと充実させてほしい」との意見もあった。次年度以降は財政状況にもよるが、意見を踏まえ、イベント内容の拡充に努めていきたい。

質問 オープンガーデンの開催が出来ないか伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 次年度開催予定の景観緑化祭において、オープンガーデンを含め、市民が緑に親しめる企画を検討したい。

五 市長の再出馬について

質問 就任以来の成果と課題について伺う。

答弁 当間企画部長 成果として経済活性化と失業率の改善、次に教育、子育て支援の拡大、地元企業育成と誘致、そして地産地消など。課題としては市民所得の向上と失業率の改善だと考えている。

質問 二期目の再出馬について伺う。

答弁 島袋市長 本市の行政課題が山積みしており、市政発展を期するため、二期目に出馬する決意を固めている。



一 学校園庭の芝生化について  
 二 本市のイメージキャラクターの制作について

東浜光雄

一 学校園庭の芝生化について

質問 学校園庭を芝生化する事で、子供達の外遊びが増え、裸足になって、寝転んだりして遊ぶ事ができ、心身の発達向上に繋がる。また土のグラウンドに比べてけがの発生が減少し、程度が軽くなる事や温度が2〜3度低い事、暑い夏に快適な環境で過ごせる利点があるが、学校園庭の芝生化に取り組んでいく考えはないか見解を伺う。

答弁 照屋教育部長 園庭を芝生化するメリットとして、子供達の心身の発育向上、快適な環境、けがの防止等、地域と学校との連携強化等があると認識している。今後、先進地の事例の調査、研究を実施し、本市における事業実施に向けて検討していきたい。

二 本市のイメージキャラクターの制作について

質問 全国の多くの市町村でイメージキャラクターが町のアピールをし、観光振興や地域活性化に大きく活躍している事は、承知の事と思う。本市においてもイメージキャラクターを制作し、導入する事で、今以上に本市の観光、物産のイメージがアップされ、市内外や県外の観光客の皆さんがうるま市をより認知し、訪問客が多くなり、観光振興や地域活性化に大きく繋げる事ができると考えるが見解を伺う。

答弁 上間経済部参事 現在、商工会青年部がうるま市の特産品をイメージしたヒーローキャラクターの制作に向けて、公募の準備をしているが、今後の取り組みとしては、観光振興ビジョンにおいても闘牛、エイサー、世界遺産勝連城跡、海中道路などブランドを生かしたキャラクターを制作したイメージ戦略の展開が掲げられている。ブーテンなど既に形成されたキャラクターや阿麻和利や百

度踏揚の活用並びに商工会青年部の取り組みと併せ、観光物産協会など、関係団体と連携を図りながら、うるま市のアピールキャラクターの制作を検討していきたい。

※他に「子どものいじめ、暴力行為対策について」質問しました。

制作し、導入する事で、今以上に本市の観光、物産のイメージがアップされ、市内外や県外の観光客の皆さんがうるま市をより認知し、訪問客が多くなり、観光振興や地域活性化に大きく繋げる事ができると考えるが見解を伺う。



- 一 石油タンク事故について
- 二 宮森小学校津波避難訓練について
- 三 韓国プロ野球団と市民との交流について
- 四 成人式の開催方法について

まつだ ひろゆき 松田 久男

一 石油タンク事故について

質問 今回のタンクの検査体制を伺う。

答弁 照屋消防長 昭和52年以前の設置タンクを旧法タンクとして、7年を周期にタンク内を空にして、定期的に保安の検査を実施する事になっている。

質問 今回原因となった屋根の検査と現在の状況を伺う。

答弁 照屋消防長 平成19年に保安検査が行われ、当時の記録では腐食箇所等、全ての補修を実施し、基準に適合して完成検査済証が交付されている。現在はタンク内の1m70cmの位置にある。

質問 今後の対策について伺う。

答弁 照屋消防長 原因究明後、国の助言も仰ぎ事故が発生しない様に指導していく。

二 宮森小学校津波避難訓練について

質問 前回訓練では伊波小学校が避難先であったが、今回は校内の校舎屋上となった。避難場所変更の経緯の説明を求めます。

答弁 榮野川副市長 前回訓練では避難に長い時間を要し、また低学年児童の体力、集中力の低下が見られ近くへの実施となった。

質問 宮森小学校周辺は案内のとおり避難する場所が無い。校舎も老朽化している。去年の震災を見た限りでは十分と思えない課題があると思う。何回も議会でもやるが、今後の対応について伺う。

答弁 榮野川副市長 学校周辺の地理的環境を踏まえ、対応可能な避難場所、避難方法の検討を行い、訓練を重ねていく必要があると考えている。次期校舎改築の際、15m以上の避難所を設ける等、検討課題となる。

三 韓国プロ野球団と市民との交流について

質問 うるま市は二つの韓国球団がキャンプを行っているが、あまり市民は関心が無い。市民レベルの交流に行政も努力してほしい。

答弁 上間経済部参事 現在市民レベルでの交流の計画は無いが、関係機関、団体と連携しながら取り組んでいきたい。

質問 うるま市の観光の為に海外にも目を向けるのは当然である。取り組みやすい少年野球教室等から初めて欲しい。事業の先駆けとして検討できないか。

答弁 上間経済部参事 関係課と協議して対応したい。

四 成人式の開催方法について

質問 規模が大きく式典開催に苦労していると思う。父兄からも時々遠かという要望がある。もつと温かみのある式典になる様な改善策は無いか。

答弁 照屋教育部長 現在特に市民より要望は受けていないが、開催方式、内容については温かみのある式典になるよう意見を集約し検討していきたい。



- 一 与那城陸上競技場多目的広場横のゲートボール場の整備について
- 二 「イチハナリ・アート・プロジェクト」第2回の開催内容、成果、課題と伊計小中学校跡利用の計画について
- 三 うるま市の雇用支援事業について
- 四 うるま市における空き家、廃屋の現状と対策について

さasaki けんじ 佐久田 悟

一 与那城陸上競技場多目的広場横のゲートボール場の整備について

質問 与那城多目的グラウンドゲートボール場が台風や大雨の為に利用できない状況だが早めの整備が必要だと考えるが市の対応を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 議員ご指摘のとおり赤土が流出しており早急に整地等を実施し施設利用に支障がない様対応していきたい。

質問 ゲートボール場に芝張りが必要か当局の見解を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 財政当局と調整の上、施設利用者のご要望にこたえられるよう検討していきたい。

二 「イチハナリ・アート・プロジェクト」第2回の開催内容、成果、課題と伊計小中学校跡利用の計画について

質問 第2回イチハナリアートプロジェクトが開催されたが、課題について伺う。

答弁 上間経済部参事 伊計自治会に協力頂いている部分が多く現場と地域と行政が一体となった取り組みにまで発展しておらず他方面との連携を図れる様検討していきたい。

質問 他の島しょ地域でも活性化の為にイベントは計画されているか伺う。

答弁 上間経済部参事 体験型観光推進の施策としてそれぞれの地域の特性をいかした地域活性化の創設に努めてまいりたい。

市公共施設等あり方検討委員会が効果的な利用になるよう検討されていく予定。

三 うるま市の雇用支援事業について

質問 市の雇用支援事業の取り組みについて伺う。

答弁 上間経済部参事 街角コンタクトセンターであえるを十月に開設、他に就業意識向上支援事業や求職者相談窓口の充実、企業誘致による雇用創出などの取り組みを展開している。

質問 企業が求めている人材、資格等を含めて優れた人材を送り出す教育制度や情報システム等が重要だと考えるが市の取り組みについて伺う。

答弁 上間経済部参事 沖縄振興特別推進交付金を活用し求職者求人者情報管理システムを構築する予定である。

四 うるま市における空き家、廃屋の現状と対策について

質問 空き地や廃屋は個人の財産であり、問題があった時の解決にあたっては課題が多いと思う。これから新たに条例の制定など行政としての取り組みが必要だと考えるが、当局の見解を伺う。

答弁 登川市民部長 担当部署の連絡体制を図り空き屋や廃屋等の実態の把握に努めると共に条例についても先進事例等を調査し自治会等の意見を伺いながら検討していきたい。

※他に「市道与那城86号線(平安名1009番地付近)の道路整備について」質問しました。





名嘉山 隆

- 一 天願川河川工事について
- 二 鉄軌道導入について
- 三 教育行政について
- 四 道路行政について

一 天願川河川工事について

質問 栄野比区の工事開始と終了時期について伺う。

答弁 久田建設部長 平成24年度で

字川崎御山の川橋から、国道329号までの実施設計、延長1300mを発注済。栄野比地区の工事着手は平成28年度以降、終了時期は現在未定。

二 鉄軌道導入について

質問 当局主体のシンポジウム開催予定について伺う。

答弁 当問企画部長 現時点では明確な予定はない。

質問 ルート整備について、国や県へどのような方法で要請活動を行うか。

答弁 当問企画部長 うるま市を経由する鉄軌道ルートの実現に向けて意見を表明するとともに、要請活動についても、時機を失しないよう適時検討をしたい。

三 教育行政について

①うるま市学校適正配置基本計画について

質問 栄野比区内の父母から、中学校区の見直しに不安感がある。今後の取り組み方法について伺う。

答弁 蔵根指導部参事 平成25年度後半以降から平成26年等にかけて、関係自治会、保護者、地域住民に対し説明会を開催し、地域の意向を踏まえた上で、具体的な計画策定に取り組んでいく計画。

②小学校のグラウンド整備について 行政として人工芝の考え方を伺う。

答弁 照屋教育部長 人工芝は近年の技術開発により、子供達に優しい品質の高い人工芝が開発されていると認識をしている。

質問 校舎、プール、体育館の整備と同様に、グラウンドへ人工芝を導入する事を検討できないか伺う。

答弁 照屋教育部長 子供に優しい品質の高い人工芝によるグラウンド整備のメリットは大きいものがある。導入について今後検討する。

③小学校への防犯カメラの設置について

質問 小中学校へ防犯カメラの設置について当局の考えを伺う。

答弁 仲田指導部長 校舎改築時の際には、学校、保護者、地域の意見を尊重し、防犯カメラを設置する方向で検討する。今後、校舎改築等の実施時期が未定の学校から、防犯カメラの設置要請があった場合には、その内容や地域性、また社会情勢等も考慮しながら検討する。

四 道路行政について

質問 伊計島から金武町へ大橋を架ける構想について当局の考えを伺う。

答弁 当問企画部長 本市では正式に検討された事はなく、現時点では実現性は厳しい。

質問 長期的な構想の中へ取り入れる事が出来ないか伺う。

答弁 当問企画部長 クリアすべき課題も多く、その実現性は厳しいものがあると考えますが、今後の総合計画、基本構想に位置づける事が可能かを含め、検討課題とする。



比嘉 敦子

- 一 行政「期日前投票の簡素化（入場券ハガキ）」について
- 二 福祉「子ども・子育て支援事業計画」について
- 三 環境「ペットボトルの回収支援事業（現在の回収方法と今後の取り組みについて）」について
- 四 産業関係について
- 五 教育関係について

一 行政「期日前投票の簡素化（入場券ハガキ）」について

質問 宣誓書を投票入場券、ハガキ裏に印刷をし、自宅で記入出来る様に事務手続きの簡素化が出来ないか。

答弁 前原選挙管理委員会事務局長 多くの情報を収集し、不安点の解消に努めて実行出来る様に検討していく。

二 福祉「子ども・子育て支援事業計画」について

質問 子ども・子育て支援事業計画と今後のスケジュールについて。

答弁 根路銘福祉部長 子供の教育、保育、子育て支援を総合的に進める新しい仕組みである。新制度が平成27年4月に施行の場合、随時、国提供の情報に基づき対応していく。

三 環境「ペットボトルの回収支援事業（現在の回収方法と今後の取り組みについて）」について

質問 平成23年2月議会にも質問したが、その後の検討は。

答弁 登川市民部長 ペットボトルのキャップを燃やせるゴミ袋で回収の市は那覇、浦添、糸満、豊見城、沖縄、宜野湾、宮古島、うるまの8市。費用対効果等細部にわたる更なる検討が必要。

四 産業関係について

①宮城島池味のトンナハビの子の護岸決壊の対策を伺う。

答弁 島袋経済部長 当該護岸は50年以上前に作られている。県との部署で対応するのか協議中。市として県へ早急な修復を要請していく。

②池味漁港のガードレール腐食について伺う。

答弁 島袋経済部長 支柱補強の応急処置がされているが、早目の修繕が必要。

五 教育関係について

①学校図書館システム導入について。

質問 仲田指導部長 旧具志川市で設置の図書館システムは平成23年度でリース期間が終了。今後も市内全域の小中学校への図書館システム導入に向けて平成25年度実施計画に提案をしたい。

②与那城小学校の防球ネット設置について伺う。

答弁 照屋教育部長 沖縄防衛局の調整交付金を活用するので、工事は平成26年度を予定している。

③通学路の安全対策について

質問 スクールゾーンであるにもかかわらず歩道やガードレールも無い所もあるが、その対策は。

答弁 久田建設部長 歩道設置が必要な箇所は7カ所、ガードレール設置の必要箇所は4カ所、路側帯のカラー舗装を実施する箇所は6カ所ある。今年度は兼原小学校前の通学路を実施予定。

④県道8号線から与勝高校へ向かう市道勝連2-11号線道路路拡張について。

答弁 久田建設部長 県道からの入り口部分が狭く、地権者の同意が得られれば事業化に向けて検討したい。

⑤田場互恵ガス前の市道への歩道の設置について。

答弁 久田建設部長 上江洲区から田場小への通学路でもあるので、検討したい。



一 施設整備について  
 二 防災行政について  
 三 環境行政について  
 四 道路行政について

伊 盛 サチ子

一 施設整備について

**質問** うるみんの台風被害による玄関天井板落下の修繕にかかる見通しについて伺う。

**答弁** 根路銘福祉部長 現在、委託している修復設計の報告書が届き次第、早めに着工出来る様準備し、利用者者に不便を来さない様に可能な限り早急に発注し、安全に復旧が出来る様努めていきたい。

二 防災行政について

**質問** 防災行政無線の設置状況と、今後の整備計画及び音声機能の対応について伺う。

**答弁** 榮野川副市長 屋外用無線放送施設が236カ所に設置され、また公立の保育園、幼小中学校施設などには、現在47カ所に個別受信機が設置されている。今後の整備は難聴地域が発生している塩屋区の一部地域と州崎地区内に屋外用無線放送施設を設置する予定。屋内用無線受信装置については、未整備の公立学校などを中心に33カ所に設置する予定となっている。防災無線が聞き取りにくい場合の対策の一つとして、緊急時には本市域内の携帯電話にエリメールによる情報を発信する事ができる様になっている。

三 環境行政について

**質問** 廃食油の回収事業の取り組み

と生ごみの堆肥化について伺う。

**答弁** 島袋経済部長 廃食油の回収を推進する為にホームページ、広報チラシの配布等で市民への周知に努めている。回収は各庁舎で、自治会では曙区や比嘉区で実施されている。回収された廃食油は市内事業所で精製され、県内大手製造業者がバイオ燃料を利用し需要が高まっている。

**答弁** 登川市民部長 家庭から出される生ごみは、取扱いの難しさ、受け入れ先、経費の問題等から全戸個別収集は厳しい。現在行っている生ごみ処理機購入助成制度の拡充を図っていくのが良いのではと考えている。

**質問** 廃食油をゴミ収集の様な回収方法で、担当課との調整が出来ないか伺う。

**答弁** 島袋経済部長 回収システムについては、市民部との関連があり、課題を整理して検討したい。

四 道路行政について

**質問** 市道安志門線の舗装整備の取り組みについて伺う。

**答弁** 久田建設部長 年度末の予算執行状況で可能であれば対応していきたいと考えているが、予算的にも厳しいものがあれば、平成25年度の予算で対応していきたい。



一 字具志川地内具志川食糧前交差点整備に伴う街路港の早期整備の必要性と関連する事項について  
 二 指定管理者制度に関連する事項について

金城 勝正

一 字具志川地内具志川食糧前交差点整備に伴う街路港の早期整備の必要性と関連する事項について

**質問** 具志川食糧前県道37号線、字具志川3327-1前からの支線道路を近隣住民から拡幅して欲しいとの要望があるが、その可能性を伺う。

**答弁** 久田建設部長 この県道37号線の支線である乗り入れ部分から約20mの区間は幅員が狭くなっている。車がすれ違うには厳しい状況にある。市道に認定した後に整備を検討していきたい。

**質問** 同交差点整備に伴い、幾つかの課題が浮上してきている。例えばバイパス的に現在進行中の赤野港原に繋いでいく様な整備の検討は出来ないか。

**答弁** 瀬高都市計画部長 県道37号線、県道8号線、市道2-75号線など、周辺県道、市道の整備による急激な道路環境の変化が生じている事について、充分把握をしている。このような状況を解消すべく、現在策定中のうるま市道路整備プログラムにおいて、具志川食糧前交差点を含めた周辺交通環境の改善を念頭において計画を策定していきたい。

二 指定管理者制度に関連する事項について

**質問** プロポーザル方式におけるプレゼンテーションについて伺う。

**答弁** 榮野川副市長 応募の締め切り後、応募内容について事前に精査をして、事業計画内容の詳細や人材確保方法、運営の実現性等を確認する為に行っており、これは適正に行われていると考えている。

**質問** 青少年健全育成で言われている学校、家庭、地域の連携の重要性から、地元自治会の優位性を候補者選定の過程で有利に位置付けて選定される可能性を高めたいたが、市長の見解を伺う。

**答弁** 島袋市長 児童館は、地域にとらわれない子供達の指導方法とノウハウを持ち合わせなければ児童館を運営する指定管理としての質も欠けるのではないかとこの思いもあるが、最終的にはどなたが指定管理者になるうとも学校、家庭、地域との連携が重要であり、この三者が果たす役割は大変大きいと思う。

※他に「消防行政に関連する事について」質問しました。





- 一 下水道事業関係について
- 二 経済関係について
- 三 教育関係について
- 四 企画関係について
- 五 土木関係について

平 正盛

一 下水道事業関係について

**質問** 下水道課の係の配置を何う。  
**答弁** 久田建設部長 下水道課が水道局に入居し、水道庁舎には下水道課業務係と排水設備係を配置し、工事係が与那城庁舎に残っている。平成27年4月から水道局との統合を考えている。

二 経済関係について

**質問** 民宿の取り組み等について。  
**答弁** 上間経済部参事 民宿の全件数21軒、島しょ地域13軒。連絡会、協議会等の組織化について、観光物産協会の中で検討したい。農林漁家民宿関係の規制緩和措置は平成6年6月に「農林漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律」が制定、農林漁家に限り、営業の許可基準を緩和し設備投資を軽減した形で、民宿の営業許可が取得出来る様制度が創設された。

三 教育関係について

**質問** 廃校の跡利用について。  
**答弁** 蔵根指導部参事 平成24年度中に地域からの意見、要望を取りまとめ「学校跡地跡施設利用基本方針」を策定し、廃校施設の活用の方角性を示していく。

四 企画関係について

**質問** 沖縄ターミナルの原油流出事故について、公害防止協定の内容を何う。  
**答弁** 登川市民部長 株沖縄石油ターミナルと旧与那城村との間で昭和51年12月27日に締結、内容として第1条から15条までで、理念、公害防止対策、測定報告及び立ち入り調査等が規定されている。

五 土木関係について

**質問** 台風被害の修復について。  
**答弁** 久田建設部長 伊計島第二橋の防波堤の年度内対応は厳しい。伊計ビーチの護岸工事は、現在設計見直しをしており、来年2月頃工事着工予定、完成は6月頃を予定。宮城島池味の漁港の片隅の整備は、まだ県は検討中。浜比嘉島のアマミチユ一の墓に渡る道は、今年度内で対策すると県から回答を得ている。

一 東海岸開発基本計画について

**質問** 敷地島の地権者である字所有地、屋慶名地域住民への説明会について、敷地島には4万7千坪余りの屋慶名区有地財産がある。屋慶名地域住民が理解を深める為にも地域説明会を開催して頂きたいが、当局の見解を何う。  
**答弁** 当間企画部長 事業対象となつての筆界未定地ブロックごとの個別説明会の開催を来年1月に予定しているが、それは別に屋慶名地域から説明会開催の要望があれば、自治会と調整の上、随時開催をしていきたいと考えている。

二 県道37号線(屋慶名大通り) 拡幅工事について

**質問** 県道37号線(屋慶名大通り) 拡幅工事計画の追加事業継続が出来ないかについて、地権者の同意が得られるのであれば、新たに追加工事を計画しているのか。当局の見解を何う。  
**答弁** 久田建設部長 議員から要望のある延長1.2kmのうち、残りの900mの整備についても市としては、現在の道路拡幅工事に継続して行われる様、沖縄県中部土木事務所に要請をしていきたいと考えている。

三 県道・与勝一周道路について

**質問** 与勝地域住民が30年余り要請行動を起こしている与勝一周道路、与勝地域のたつての大きな念願である県道与勝一周道路の計画に取り組み考えはないか、市当局の見解は。  
**答弁** 久田建設部長 仲田、照屋両県議同席のもと、市長直々に沖縄県土木建築部長あて要請をしたところである。早期の事業化に向けて、県と調整していきたいと考えている。

四 沖縄ターミナル・原油タンクの事故について

**質問** 今後、当局は安全対策の課題をどの様に指導していくか何う。  
**答弁** 照屋消防長 再発防止にかかると指導については、立ち入り検査の強化及び事業所に対して、当該タンクの基準維持命令を行い、また事故調査の結果により原因が究明されたら、国の助言も仰ぎ、同様の事故が他のタンクにおいても発生しない様に各危険物事業所に強く指導していく。



- 一 東海岸開発基本計画について
- 二 県道37号線(屋慶名大通り) 拡幅工事について
- 三 県道・与勝一周道路について
- 四 沖縄ターミナル・原油タンクの事故について
- 五 沖縄県立劇場誘致について

兼本 光治

一 東海岸開発基本計画について

**質問** 敷地島の地権者である字所有地、屋慶名地域住民への説明会について、敷地島には4万7千坪余りの屋慶名区有地財産がある。屋慶名地域住民が理解を深める為にも地域説明会を開催して頂きたいが、当局の見解を何う。  
**答弁** 当間企画部長 事業対象となつての筆界未定地ブロックごとの個別説明会の開催を来年1月に予定しているが、それは別に屋慶名地域から説明会開催の要望があれば、自治会と調整の上、随時開催をしていきたいと考えている。

二 県道37号線(屋慶名大通り) 拡幅工事について

**質問** 県道37号線(屋慶名大通り) 拡幅工事計画の追加事業継続が出来ないかについて、地権者の同意が得られるのであれば、新たに追加工事を計画しているのか。当局の見解を何う。  
**答弁** 久田建設部長 議員から要望のある延長1.2kmのうち、残りの900mの整備についても市としては、現在の道路拡幅工事に継続して行われる様、沖縄県中部土木事務所に要請をしていきたいと考えている。

三 県道・与勝一周道路について

**質問** 与勝地域住民が30年余り要請行動を起こしている与勝一周道路、与勝地域のたつての大きな念願である県道与勝一周道路の計画に取り組み考えはないか、市当局の見解は。  
**答弁** 久田建設部長 仲田、照屋両県議同席のもと、市長直々に沖縄県土木建築部長あて要請をしたところである。早期の事業化に向けて、県と調整していきたいと考えている。

四 沖縄ターミナル・原油タンクの事故について

**質問** 今後、当局は安全対策の課題をどの様に指導していくか何う。  
**答弁** 照屋消防長 再発防止にかかると指導については、立ち入り検査の強化及び事業所に対して、当該タンクの基準維持命令を行い、また事故調査の結果により原因が究明されたら、国の助言も仰ぎ、同様の事故が他のタンクにおいても発生しない様に各危険物事業所に強く指導していく。

五 沖縄県立劇場誘致について

**質問** 県立劇場の積極的な誘致の計画が出来ないか、市当局の見解を何う。  
**答弁** 照屋教育部長 今後とも県の動向に注視しつつ、積極的に情報を収集し、誘致実行委員会、関係団体とも連携をしながら、引き続き適宜対応していきたいと考えている。



一 治水対策について  
 二 赤土等流出について  
 三 畜産振興について  
 四 世論調査について

幸地政和



一 州崎埋め立て地域の工業用地について  
 二 公園整備について

高江洲賢治

一 治水対策について

質問 低地帯を含めた治水対策整備計画について伺う。

答弁 久田建設部長 天願川治水対策整備計画は天願地区の整備、川崎地区、栄野比地区の河道拡張や、護岸工事を予定。ヌーリ川流域の田場地区は昨年度予算措置したが未着工となっている。

質問 総合治水対策整備計画の見解を伺う。

答弁 久田建設部長 総合治水対策事業はハード面の整備となり、河川の河道拡幅、雨水幹線の改良、低地帯の遊水地、貯留施設や貯留浸透施設等がある。

二 赤土等流出について

質問 赤土が流入する河川及び公共海域の被害状況を伺う。

答弁 登川市民部長 海域の赤土等堆積状況調査が石川川河口、天願川河口、平安名地先、比嘉地先、池味地先で行われランク6の汚染であると判断できる。

質問 赤土等流出が発生する主な原因を伺う。

答弁 登川市民部長 赤土等流出源実態調査によると第一位が農地、第二位が開発行為、第三位が米軍基地である。

質問 パーセントで示す事は出来るか。

答弁 登川市民部長 農地74%、開発事業15%、米軍基地8%、その他が3%である。

質問 農地から金武湾海域に74%が滞留している。今後の農地からの赤

土等防止対策事業について伺う。

答弁 島袋経済部長 農業環境の保全を図る為、耕土流出防止事業を計画的に導入し、対策工事を実施したい。

質問 赤土等による石川漁協への影響を伺う。

答弁 島袋経済部長 共同7号漁業権水域に濁水等が流入し、定置網漁業や潜水器漁業等へ被害が出ている。漁獲量も減っている。

質問 石川漁協に石川漁協運営補助金制度があった。創設の理由を伺う。

答弁 島袋経済部長 土地改良事業等の工事及び周辺農地からの赤土、汚濁水が漁業水域に流入し、赤土被害の補償目的で旧石川市と石川漁業協同組合で水産業振興補助の契約が締結された。

三 畜産振興について

質問 堆肥センターの施設について住民の理解を得る事が出来たら堆肥センターの建設は可能か。

答弁 島袋経済部長 堆肥センター建設については、関係団体等を含め、その必要性や可能性を議論しながら検討させて頂きたい。

四 世論調査について

質問 市民世論調査を制度化し、毎年予算計上して調査する事の所見を伺う。

答弁 当間企画部長 市民と行政との協働によるまちづくりを推進する観点から今後必要になってくる。先進地市町村の実施状況を調査研究させてほしい。

一 州崎埋め立て地域の工業用地について

質問 現在の企業の進出状況を伺う。

答弁 上間経済部参事 うるま市と沖繩市で構成する中城湾港開発推進協議会が2年毎に実施している雇用状況調査の実績によると、中城湾港新港地区には、現在、162社の企業が進出している。

質問 勝連南風原地区の未分譲用地への企業誘致を、どのような方法で誘致していくか。

答弁 上間経済部参事 中城湾港新港地区における今後の企業誘致については、来年以降2か年で20社以上の新たな企業立地が現在見込まれている。今後も引き続き沖繩県と連携し、企業誘致セミナー、トップツアー等で起業誘致活動を積極的に図っていききたい。

二 公園整備について

質問 ヌーリ川公園整備計画と、これまでの進捗状況を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 ヌーリ川公園は平成23年4月に事業認可を受け、平成23年度より、平成29年度までの期間に、多くの市民がレクリエーション、スポーツや散策を楽しめる公園として整備する事としている。事業費ベースでは総事業費23億2千9百万円の内、本年度末までに3億

6千7百50万円を執行する予定で、執行率では17%となっている。

質問 ヌーリ川公園用地72筆、地権者43人で今年度は用地取得16筆、6人の地権者からの用地取得をする予定であるが、来年度以降の用地取得計画について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 来年度以降の用地取得計画は平成25年度地権者13人23筆、26年度地権者13人23筆、27年度地権者4人7筆となっている。

質問 平成24年8月の臨時議会において、一括交付金により事業採択をされた江洲第5公園の整備計画について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 江洲第5公園整備計画については、沖繩振興特別交付金事業として公園整備を計画している。面積5千4百69・39平方メートルの中に観光、伝統芸能、文化の継承、交流、健康をキーワードとした公園整備をする事にし、現在、宮里区、江洲区においてワークショップを通し、地元ニーズとキーワードを連携させた公園の在り方を検討して公園計画に反映させていきたい。本年度3月中に設計を完了させ、平成25年度中に工事完了し、平成26年4月の供用開始を予定している。





- 一 赤道小学校の全面改築について
- 二 赤道小学校区（赤道、新赤道、米原、兼箇段）における新たな公園整備について
- 三 自治公民館等における公的証明書取得の可能性について
- 四 市道108号線（兼箇段）の歩道設置について
- 五 生涯学習センターの機能について

仲程 孝

一 赤道小学校の全面改築について

質問 校舎の雨漏りがひどいことから、防水工事等の対策について伺う。

答弁 照屋教育部長 雨漏りの原因について特定できている。年内には防水工事を完了する予定。

質問 オープンシステムの弊害に対して、何らかの施策が必要ではないか。

答弁 照屋教育部長 抜本的な解決策として、今後全面改築のタイミングも見据えて、どのような対策が適切か、学校とも相談をしながら、教育環境の整備に努めたい。

質問 校舎の建築構造やその機能、関連施設の児童に及ぼす環境に関する問題点も踏まえて早急に全面改築を行うべきでは。

答弁 照屋教育部長 課題を踏まえつつ平成25年度の耐力度調査に基づき、施設整備を考えていきたい。

二 赤道小学校区（赤道、新赤道、米原、兼箇段）における新たな公園整備について

質問 今後住宅等が密集するその前に優先的に都市型公園の計画を検討すべきだと思うが。

答弁 瀬高都市計画部長 次年度以降の事業化に向け、公園整備プログラ

ム策定事業において、本市全域の公園整備、配置バランスや整備の優先順位などを位置づけていきたい。

三 自治公民館等における公的証明書取得の可能性について

質問 市民が地域の公民館において公的な証明書を取得するサービスが構築できないか。

答弁 榮野川副市長 システム構築には多大な費用がかかると考えている。現状として導入は大変厳しい。

四 市道108号線（兼箇段）の歩道設置について

質問 具体的な工期、延長、予算規模等について伺う。

答弁 久田建設部長 平成25年度から平成29年度までの5年間を予定している。延長約700m、幅員12mで計画、両側歩道で整備、予算規模で約12億円を予定。

五 生涯学習センターの機能について

質問 市内愛好家がサークルごとや個人で個展を行いたい等の要望があった場合、スペースを提供することが可能か。

答弁 照屋教育部長 展示場の利用についてはサークルの展示会、個展での利用、年間を通しての市民の作品展展示も可能と考えている。



- 一 道路行政について
- 二 公園整備事業について
- 三 薬物乱用防止について
- 四 特産品活用による地域興し事業について

平良 榮順

一 道路行政について

質問 県道75号線字天願から小学校への通学路歩道の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 歩道塗装面のごぼこや水たまり、街路樹の根が舗装を隆起させている状況で、中部土木事務所へ補修工事等の要請を行う。

質問 県道敷地いっぱい、幅員の狭い歩道を拡幅出来ないか伺う。

答弁 久田建設部長 軍との境界の間には県有地があると思われる、調整を図りたい。

質問 街灯の整備について伺う。

答弁 登川市民部長 県道沿いへ防犯灯設置は大変厳しい。

質問 ここは通学路であり、コート2-1の住民も頻りに利用している。調整交付金で街灯の設置が出来ないか伺う。

答弁 登川市民部長 事業採択としての条件等を精査して、交付金が活用出来るか調査、検討する。

質問 南風原のグスクロード、具志川商業高校前アカギ並木街路樹へのランの花等の着生について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 グスクロードについては道路管理者との協議が必要である。

質問 久田建設部長 道路管理者は歩行者や車両が安全に利用出来る様な維持管理する事であり、ランの着生等、修景的な事は厳しい。

二 公園整備事業について

質問 字天願区への街区公園整備について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 公園整備

プログラ策定事業において、優先順位等位置付けていく。

質問 基地のある自治会で公園がない。優先的整備を位置づける必要があると考えるが見解を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 公園は地域レクリエーションの場でもあり、緊急避難場所機能も有する。地域性等も勘案しながら位置付けていく。

三 薬物乱用防止について

質問 脱法ドラッグ規制強化の為に包括指定導入による規制効果について伺う。

答弁 登川市民部長 規制の網が広くなり、根絶に向け一歩前進する。

質問 行政、地域が行う対策について伺う。

答弁 登川市民部長 法律による規制強化とともに、道徳心を強める教育に加え警察、教育委員会、自治会等連携して危険性を伝える教育にも力を入れていきたい。

質問 脱法ハーブを規制する県条例の制定について所見を伺う。

答弁 登川市民部長 現時点における条例の制定は厳しいとの事。

四 特産品活用による地域興し事業について

質問 全沖縄やまいも勝負（スーブ）インするまのギネス挑戦について、開催についての考えを伺う。

答弁 島袋経済部長 確実にギネス世界記録を達成する為、実現に向けて調査研究する等検討する。

※他に「農業行政について」質問しました。



一 勝連南風原地内市道1-5号線について  
 二 宮里地内道路拡張工事について  
 三 うるま市公共施設保守管理について  
 四 うるま市公共工事指名競争入札のあり方について  
 五 図書館司書について

喜屋武 力

喜屋武 力



一 施政方針について

宮里 朝盛

一 勝連南風原地内市道1-5号線について

**質問** そこは雨が降ると車がスリップし、前進出来ず後方車輛に衝突する。小学校への通学路であり危険性も高く、利用者や子供達の為にも滑り止め舗装が出来ないか。

**答弁** 久田建設部長 雨降りに車がスリップする状況と伺っている。現状を調査し対策検討していく。

二 宮里地内道路拡張工事について

**質問** 宮里公民館より県道16号線に隣接する生活道路を幅6m、片側歩道付の道路にして欲しいが。

**答弁** 久田建設部長 現状は幅員も狭く車のすれ違いも厳しい、整備をするにあたっては市道認定後に検討していきたい。

三 うるま市公共施設保守管理について

**質問** 市の保有する公共施設の消防空調、電気設備の保守管理委託契約入札は市内業者が少ないのではないか。

**答弁** 榮野川副市長 有資格者や免許保持者がいる業者から、市内業者市内本社を優先的に選定、また契約状況は市内が65%、市外が35%である。

四 うるま市公共工事指名競争入札のあり方について

**質問** 建設工事共同企業体入札指名のあり方に対し、指名業者選定委員会の選定について伺う。

**答弁** 瀬高都市計画部長 建設工事共同企業体の選定の運用は、昭和62

年8月建設省通知の運用準則に準拠し、工事施工能力等級基準の最上位等級に属する工事で、相当規模以上を原則、構成委員数は2社ないし3社で、市内のAランクに相当する最上等級のみ、あるいはBランクに相当するものの組み合わせとしている。

**質問** 今回の伊波小学校の工事で、一、二工区全てAランクで構成されているが。

**答弁** 瀬高都市計画部長 田場小、彩橋小中の発注工事で入札辞退や指名辞退があり、今回は適切な特定建設工事共同企業体の結成を図る為、運用準則で望ましいとされるAクラス業者3社による構成とした。

**質問** 合併当初、ABCの3社で取り組まれ、Cランクの会社はAランクの技術力を学ぶ意味で頑張っていたと思う。行政が小さな会社を育て指導する事で、市の経済効果や人材の育成にも繋がると思うが。

**答弁** 瀬高都市計画部長 中小建設業者の保護育成を図り、適正な発注に努めたい。

五 図書館司書について

**質問** 図書館司書の臨時採用について、今後検討との事であったが、どの様に検討したか伺う。

**答弁** 仲田指導部長 学校の教育課程促進にとって重要な司書業務であり、図書館活動に勤務時間が対応出来る臨時職員を雇用し、より良きあり方を考えていきたい。

一 施政方針について

**質問** 新たに創設される沖繩振興制度の地域振興策の進捗と成果等について伺う。

**答弁** 上間経済部参事 国際物流拠点産業集積地域に関して、県が整備した賃貸工場は全て賃貸しており、特に近年は高付加価値製品を製造する企業の集積が進んでいる。また県は新たな賃貸工場の整備に着手している。情報産業振興地域は、民間IT施設が整備され、80名の雇用を創出。本市兼箇段地域に沖繩型クラウドデータセンターの建設が予定。観光地形成促進地域は、現時点で成果はない。

**質問** 東埠頭の状況について伺う。

**答弁** 上間経済部参事 東埠頭は国によって航路浚渫工事を実施、平成28年度の供用開始を目指していると伺っている。

**質問** 施政方針の人と自然にやさしい基盤と環境を育てると言う関連について伺う。

**答弁** 当間企画部長 生活環境の整備については、津堅島の生活道路整備、伊計地区海岸浸食対策事業等。産業基盤整備については上原地区の県営農地保全整備事業、津堅の漁港整備等である。

**答弁** 上間経済部参事 地場産業と観光については、島しょ地域特化事

業としてイチハナリアートプロジェクト事業、また特産品等開発及び販路開拓事業についても多様な取り組みを展開している。

**質問** 農業振興における農家の経営支援と、建議書について。

**答弁** 島袋経済部長 農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、平成25年度から認定農業者に対する農業経営改善計画のチェック指導が強化され、認定農業者に対する支援強化が図られる。

**答弁** 島袋市長 建議書は私が農業委員会会長から直接、口頭で読み上げ、受け取った。

**質問** 沖繩ターミナル原油流出事故関連について市長の見解を伺う。

**答弁** 島袋市長 国家戦略による備蓄計画の中で誕生したターミナル施設である。防災協定、公害防止に対する認識を改めた上で根底から見つめ直しうるま市、また地域住民の為になる様に対応していきたい。

**質問** 収納率の向上と滞納繰越額の縮減について伺う。

**答弁** 榮野川副市長 過去5年の不納欠損額は約5億6千万円。公平な税負担の実現の為、差し押さえの徹底、不動産の分売の実施。うるま市税等の電話催告センターを設置し、徴収率の向上に取り組んでいきたい。





一 沖縄ターミナルの原油漏洩事故について  
二 統合庁舎建設について

名嘉眞 宜徳

一 沖縄ターミナルの原油漏洩事故について

質問 事故に対する会社と行政の対応は。

答弁 照屋消防長 担当職員を派遣詳細を入手後に他市の消防本部、うるま警察署、中城海上保安部、医療機関、本市防災担当へ連絡し、警戒防護体制を整えた。沖縄県への速報総務省消防庁へ応援要請を行った。

質問 住民への説明会、情報等が遅かったとの声があるが。

答弁 榮野川副市長 会社は異臭の原因物質や人体への影響等について広く情報を開示、広報すると共に早期に住民説明会を開催して不安解消に努めるべきだと考えている。

質問 7、8年の周期で行っている点検を短縮する指導をすべきと思うが。

答弁 照屋消防長 検査期間の短縮は法改正が必要である。

質問 大気中に飛散された有害物質について伺う。

答弁 登川市民部長 大気汚染防止法に基づくベンゼン、悪臭防止法が定めるトルエンとキシレンがある。

質問 今回の会社の対応は条文(公害防止協定)に照らして適切であったか。

答弁 登川市民部長 同社と交わされた公害防止協定に基づき直ちに通報すべきだったと認識。同社が通報する危険事案に当たらないと判断し

たとの認識が正しかったか等検証し、その結果を協定の見直し等に生かしていく。

二 統合庁舎建設について

質問 統合庁舎基本設計における単価は総務省の起債基準をクリアしているか。

答弁 山口総務部参事 合併特例債を活用する上で具体的な単価基準はない。

質問 議員定数の試算も30名なら4千2百万円の縮減。なぜ34名で試算したのか。

答弁 山口総務部参事 地方公共団体庁舎の面積算定について算定基準がなく、各自自治体の判断で面積を定めているのが現状。

質問 基本設計における備品費が約2倍の2億円に膨らんだ理由を伺う。

答弁 山口総務部参事 会議室やロビー等の備品費を計上しており、ユニバーサルレイアウトを採用する事で、それに必要な備品費を計上した。

質問 今回の統合庁舎建設に当たっては市民団体から疑問点が出された。財政、跡利用の問題等、納得いく形ではない。今後、庁舎建て替えの際には、今回出された議員、市民の意見を検証してほしい。

答弁 山口総務部参事 市議会を初め、市民団体等から周知の不足、財政への影響、既存庁舎の跡利用等の検証を行い、今後の事業計画、事業執行に生かしていきたい。



一 本庁正面玄関の花木の管理について  
二 市民クリーンデーの取り組みについて  
三 高江洲小学校多目的教室について  
四 塩屋区の公園整備について

田仲 康和

一 本庁正面玄関の花木の管理について

質問 正面玄関のコンクリート柵には中農の生徒による作品展示として利用してもらい、造園業者や市民の力を借りて街作りができないか。

答弁 榮野川副市長 中部農林の生徒による作品展示の場所、市内の団体との連携を検討したい。

二 市民クリーンデーの取り組みについて

質問 市民クリーンデーの取り組みについて

答弁 登川市民部長 市民クリーンデーと仲喜洲クリーンデーの活動に行政としてできる限りの協力をした。

質問 毎年千名以上が参加する仲喜洲クリーンデーも、一組の夫婦が草刈りをしたのがきっかけで、これを各中学校校区に広げる考えはないか。

答弁 登川市民部長 学校関係者を始め、地元住民の活動を各中学校校区に広げて行く事は非常に有意義であり、仲喜洲クリーンデーが始まったようなきっかけづくりを考えたい。

三 高江洲小学校多目的教室について

質問 高江洲小の狭隘な教室の現状について、校舎改築まで待てというのはいかなり厳しいか。

答弁 照屋教育部長 現状の長期化は教育活動やPTA活動にも支障があると認識している。多目的教室の設置に新年度に向け対応したい。

地域行事を開催する場所がない現状をどう考えるか。

答弁 瀬高都計部長 不便を来している状況と思う。塩屋区のように公園がない状況と地域性も勘案し、公園整備プログラムにおける優先順位の位置づけを行いたい。

質問 第67回定例議会で公園整備の重要性を訴えたが地元自治会との話し合いは。

答弁 瀬高都計部長 地元自治会との話し合いは行ってない。公園整備の在り方について早い時期に地元自治会へ説明をしたい。

五 南風原区内の治水対策について

質問 11月4日南原小学校前の冠水被害状況について伺う。

答弁 久田建設部長 当該箇所の冠水状況は市も確認している。管理者である中部土木事務所へ冠水状況を報告し対策をお願いしている。

六 「一般廃棄物処理基本計画」後期見直しについて

質問 先進地と言われる名護市の資料は家庭ゴミと事業系ごみに分け、実に分りやすくまとめられていた。うるま市はごみ減量化に向けてどうPRしていくのか。

答弁 登川市民部長 名護市の資料のような誰にでも容易に理解できるプレゼン用のコンテンツはない。市民に理解いただくためにも同様なPR資料を整備し広報やホームページで活用したい。



なが たまゆき 永玉榮 靖

一 特定健診について  
二 原油流出事故について  
三 債権及び普通財産について

**一 特定健診について**  
**質問** 特定健診率向上対策について伺う。

**答弁** 登川市民部長 今年度の受診勧奨方法の効果の評価と新たな取り組みとして、各自治会に健康推進委員を配置、個別訪問による受診勧奨の推進を検討。また夜間健診の実施についても自治会と連携し、継続的に実施していきたい。

**二 原油流出事故について**

**質問** 原油タンクは築41年が経過している。検査や耐用年数はどの様になっているか、またタンクの底の廃油くず処理について伺う。

**答弁** 照屋消防長 腐食箇所や不良箇所の補修取替えを実施し、健全な状態とする事により耐用年数はないものと理解している。廃油くずは回収業者により焼却処分されている。

**質問** 老朽化により、自然災害の地震、台風で溶接痕の周辺が亀裂する恐れは。また廃油くずは検査をして廃棄業者に引き渡しているのか伺う。

**答弁** 照屋消防長 地震による浮屋根自体の揺れの研究はされている。沖縄県の台風の猛烈な風による研究を国に要望していきたい。廃油くずについては、廃棄業者と事業者の方々に確認をした上でお答えしたい。

**質問** 原油が漏れると爆発事故もあ

りえる。今後は5年に1回の検査期間の見直しやタンクの耐用年数の定め等国、県へ要請し事故防止対策の強化を図るべきと考えるが、市当局の対応を伺う。

**答弁** 榮野川副市長 内部でも検討し検査を強化したり、耐用年数等を別途に定め、取替えをしたり出来るか検討させて頂きたい。

**三 債権及び普通財産について**

**質問** 債権、石川西地区整理組合の運営状況と組合資金貸付金等について伺う。

**答弁** 瀬高都市計画部長 組合に対し2億5千万円の無利子貸付を行ったものである。組合において保留地処分金は貸付金の償還金に充てる為積み立てており、早期の保留地処分に向けている。

**質問** うるま市の財産、土地の地上権設定契約、三山、平山について伺う。

**答弁** 榮野川副市長 ゴルフ場の平山は平成18年4月に地上権の設定は契約が終了している。三山の方は平成26年8月が期限となっている。

**質問** 地上権設定、抵当権設定を外す努力をしていけるか。

**答弁** 榮野川副市長 市としても出来るだけ年限を少なくするとか、設定されている面積等も含めて努力をしていく。



てるや よしまさ 照屋 義正

一 照間海岸のリゾート整備計画について  
二 浜千鳥の歌碑へ通じる道路の整備(舗装)について  
三 県道与勝一周線(平敷屋〜南風原間約6.5km)の整備について

**一 照間海岸のリゾート整備計画について**  
**質問** 照間海岸の整備計画について、これまで何回となく質問、要望をしてきたが、調査の進捗状況について説明願う。

**答弁** 当問企画部長 今議会に一括交付金事業として調査業務委託料1千2百4万4千円を計上した。内容としては照間海岸の美化及び景観改善に向けた方策の調査検討、駐車場等整備の検討、マリンスポーツ大会誘致と環境整備に向けたニーズ調査を予定している。去る11月27日に内閣府の担当参事官が市長面談の後、海中道路等を視察、その整備の必要性について理解を示された。照間海岸のリゾート整備については、金武湾海中道路における調査も踏まえ、地域意見を反映し、関係部署において整備可能な事業から年次的に事業採択を行っていく。

**二 浜千鳥の歌碑へ通じる道路の整備(舗装)について**  
**質問** 当該道路は旧具志川村時代に擁壁も延伸されているし、簡易舗装をすれば足りると思うが。

**答弁** 久田建設部長 市道部分は一歩執行したい。区間の延長については350mで、約6百万円かかる見込みである。

**答弁** 上問経済部参事 観光資源として位置づけられており、道路管理者と調整したい。

**三 県道与勝一周線(平敷屋〜南風原間約6.5km)の整備について**  
**質問** この件についても何回か質問

要望してきた。市は合併特例債が約463億円あり、その半分、県は活用出来る様になっている。約2百億円の代わりに復帰特別措置の高率補助で県道の整備が出来ないかという質問を行った。照屋守之県議にも強く申し上げたが、その件について伺う。

**答弁** 久田建設部長 去る12月4日に仲田、照屋両県議の同席のもと、県知事宛の要請文書を県土木建築部長に市長直々に要請したところである。平成24年度において、南風原肝高橋付近から平安名地内の市道勝連211号線までの延長5kmの区間を事業化に向けた基礎調査を行う話があり、事業化に大きく踏み出せたものと考えている。

**質問** 6点について質問したが、市長の思いと決意を伺う。

**答弁** 島袋市長 これまでの3年8か月で36社が立地をみたと。今後あと20社が立地予定されている。3・11以降のリスク分散も含め、大きな期待を担っている。今後も議会の協力を得ながら強力に推進していきたい。

※他に「学習指導要領における教育内容の改善事項を踏まえた(明日を拓く夢のある人材育成)を旨とした知・徳・体及び食育に加えて(感育)の調和のとれた児童生徒の育成について」と「ゴミの減量化及び再利用の取り組みについて」、「中城湾港新港地区(洲崎地先)内に産業交流公園等(展示館等)の整備について」を質問しました。





一 教育環境について  
二 市民環境について  
三 経済環境について

中村 正人

一 教育環境について

**質問** 新規格による小中学校学習机について伺う。

**答弁** 仲田指導部長 国際規格がA4サイズに変更され、教科書・教材等が統一し、学校用家具・教室用机・いすの制が進み、新企画に移行した。本市では平成21年から対応し、小学校では約11%、932台が新企画に移行している。また予算については年度毎に補填しているのが現状である。

**質問** あとどの位の整備と予算が必要か。

**答弁** 仲田指導部長 未導入数が7572台、その内中学校が3720台必要。全体購入額で2億7百20万8千2百円の予算が必要である。

**質問** 予算措置で、一括交付金や子ども夢基金の活用検討出来ないか。

**答弁** 仲田指導部長 今後は工夫を行い、更に緊急対応が必要な物や、事情を勘案しながら再度検討したい。

二 市民環境について

**質問** 地域主権改革一括法を受けて、趣旨及び目的等を伺い、更に市の対応も伺う。

**答弁** 榮野川副市長 これまでに条例改正3件、今後は10件改正予定。

また住民に身近な行政は地域公共団

体が自主的かつ総合的に広く担う様にすると共に、地域住民が自らの判断と責任において、地域の諸課題に取り組む事が出来る様にするという事。今後、地域自治体は趣旨を生かし、取り組んでいきたい。

三 経済環境について

**質問** 雇用・所得・失業対策に係るプロジェクトチーム設立について伺う。

**答弁** 上間経済部参事 うるま市の雇用対策、所得向上対策、また失業対策については、これまで6年間で厚生労働省の補助を受け、新規雇用に2575人創出し、平成21年度から23年度までに緊急雇用対策補助金を活用して35事業を実施し、新規雇用443人となっている。今年度は地域若年者雇用人材育成事業や求職者や失業者の相談機能として街角コンタクトセンターを10月に開設、その外2事業も実施している。本市としても求職者相談窓口の充実、企業誘致による雇用創出等、積極的に展開している。プロジェクトチームの設置については緊急対策雇用推進本部等の中で提案しており、検討したい。



一 リゾート・ウエディング構想について  
二 市管理及び自治会管理の慰霊塔について  
三 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について

徳田 政信

一 リゾート・ウエディング構想について

**質問** 市長の公約を受けて、ウエディング構想について、どの様な計画があるか。

**答弁** 上間経済部参事 うるま市リゾート・ウエディング調査事業を踏まえながら、今年度の一括交付金を活用し、観光拠点施設と位置付けており、観光物産協会の事業の取り組みとあわせ推進を図っていく。

**質問** 県から21世紀ビジョンの中に県事業として構想が出されている中、部圏内に1カ所誘致するとなっている。その件について内部で検討されたか。

**答弁** 上間経済部参事 議員御案内の県の支援等が制度上あれば、それを活用してやる事も一つの方法として考えている。

二 市管理及び自治会管理の慰霊塔について

**質問** 安慶名中央公園内の慰霊塔に手すりを設置出来ないか伺う。

**答弁** 瀬高都市計画部長 早急な対応が必要と認識しており、現在実施中の同公園内遊具更新工事の中で対応していきたい。

**質問** 自治会管理の慰霊の塔の改修について防衛予算の特定防衛施設周辺整備調整交付金の8条及び9条の中で使えるという情報は得ているが、適用出来るか伺う。

登川市民部長 現実として遺

族会の高齢化や慰霊塔の老朽化で維持管理が厳しい状況にあると思われる。今後、県や他市町村とも情報を得ながら、何らかの対策を講じていきたい。また提案の防衛補助金関係についても関係部署を通して沖縄防衛局へ確認、調査をしていきたい。

三 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について

**質問** 事業計画がどこまで進んでいるか、進捗状況について伺う。

**答弁** 島袋経済部長 事業期間は平成24年度から26年度までを予定している。今年度は事業計画書を策定する予定で、現在コンサルタント業者に委託発注している。

**質問** 設置場所について、はっきり言えるのであれば示して欲しいが。

**答弁** 島袋経済部長 事業計画書の調査を総合的に検討し判断したい。しばらく時間を頂きたい。

**質問** 六次産業化の事業内容について伺う。

**答弁** 島袋経済部長 六次産業とは農畜水産業の第一次産業、だけでなく、食品加工等の第二次産業、流通、販売などの第三次産業にも農水産業が主体的に関わる事によって、加工賃や流通マージン等の付加価値を農業者自身が得る事により、農水産業を活性化させる。



## 一 市指定の文化財について 二 交通行政について

石川 眞永

### 一 市指定の文化財について

**質問** 市指定の文化財として指定された石川部落事務所は、昭和7年に旧美里村字石川の村屋として建てられ、戦前戦後、字石川の市民の心の拠り所として重宝がられた建物であり、昭和20年石川市が誕生し、市役所として5年間使用された事は特筆すべきである。現在、毎週水曜、木曜はエンサー、ウステークその他芸能の練習がとり行われている。また月に2、3回と部落史編纂、更に年間行事を行いながら活用しているが、長年、風雨にさらされ腐食が進み、部落会の役員会では改修、改築の話し合いがあり、早急な着手が求められている。当局の関わりを伺う。

**答弁** 照屋教育部長 石川部落事務所は戦後復興の象徴として、平成17年3月1日に市指定文化財として史跡に指定されている。しかし建物は長年風雨にさらされ、雨漏りと痛みが進行している。建物の保存、保護について教育委員会としては、新たな改築はその文化的価値が滅失するものと思慮しており、可能な限り現状を大きく変える事なく、建物の

傷んだ箇所の修繕、修復により石川部落事務所を保存、保護していきたい。

**質問** 石川部落事務所の改修に一括交付金の活用が出来るか伺う。

**答弁** 照屋教育部長 平成25年度一括交付金事業として、市内文化財総合整備調査活用事業を計画しており、その事業の1つに石川部落事務所の環境整備委託業務も予定している。建物の現状調査を実施し、修繕、修復方法について検討するものであり、その調査結果をもって部落会と調整等を行い、改修工事を実施する予定である。

### 二 交通行政について

**質問** 石川サンエー前の国道329号線の信号機に右折指示の信号が取り付け出来ないか伺う。

**答弁** 登川市民部長 石川東山本町より石川サンエーに向けての国道329号線を右折する際に支障を来し、右折指示の信号機の設置については、石川署の見解等確認したうえで当該自治会からの要望書の提出も視野にいれ検討したい。

### 一 福祉行政について

**質問** 子ども医療費助成とは、子供の疾病の早期発見と早期治療を促進し、保健の向上と健全な発育に寄与する事を目的に設けられた制度である。これがしっかりと行き届いた制度となる為にも、自動償還払い方式が必要である。医療費の自動償還払いの導入の進捗状況について伺う。

**答弁** 根路銘福祉部長 平成25年10月の導入を目前に鋭意調整を行っている。

**質問** 私が平成19年に自動償還払いを提案した理由の一つとして、本来であれば子供達がいつでも医療を受けられる様に医療機関での窓口負担の無い現物給付が望ましいが、そうすると国保会計における国庫負担金の減額というペナルティ、減額措置が適用されるので、現物給付の実施が厳しい現状があり、そこで政府の方針転換が成されるまでの間の苦肉の策として、この自動償還払い方式の導入を提案してきた。しかし去る12月の県議会において、医療費の一部負担貸付制度の導入もこの自動償還払いと共に次年度導入を目指すことあった。そこで貸付制度の内容を伺う。

**答弁** 根路銘福祉部長 低所得者の利用者への医療費相当額を貸し付け、助成金で貸付金の返済を行う制度で

## 一 福祉行政について



下門 勝

あり、支払いが困難な方も受診が可能となり、実質的には現物給付に近い形で自動償還払いの運用が可能となり、制度の趣旨が十分生かされるものと期待をしている。

**質問** 予防接種が年間に何種類あり、何通の通知を出しているか。また通知方法と年間の対象者数を伺う。

**答弁** 登川市民部長 公費で実施している予防接種は10種類で、通知数はおよそ2万5千通である。通知方法は基本的には郵送で、麻疹や風疹については市立幼稚園と中学校を通して通知する事もある。対象者数は全ての予防接種を合わせると延べ2万人である。

**質問** 予防接種の誤通知のチェック体制について伺う。

**答弁** 登川市民部長 封筒に予防表を入れる際に、対象月齢範囲内か確認し、予防接種ごとの対象者一覧の数と封詰め数が一致しているか確認している。また月齢と予防表の色が異なっている為、間違って発送する事はないと考えている。

※他に「教育行政(彩橋小中学校での小規模特認校制度導入について)」、「学校給食の安全点検(異物混入防止対策)」について、「防災行政(原油流出事故)」について「質問を致しました。





奥田 達 修

- 一 原油流出事故について
- 二 台風被害と住環境の整備について
- 三 ハブ対策について
- 四 実施計画について

一 原油流出事故について  
質問 事故の状況と本市の対応を伺う。

答弁 照屋消防長 事故発生時刻は現段階では不明、一報確知により高所放水車等の出動、他市の関係機関へ通報、警戒態勢を整えている。順調に作業も行われており、防災体制は本計画通り機能した。

答弁 登川市民部長 協定書に基づき通報体制は検証し、見直し等にかした。

質問 今後のタンク点検の留意点と他17基の調査について伺う。

答弁 照屋消防長 原因結果が出るまで、他のタンクも点検し、改善箇所とマニュアルの見直しも示唆したい。本格的調査は原因究明後となる。

質問 健康被害と対応策を伺う。

答弁 登川市民部長 健康相談会、会社による各地区における特殊健康診断を行っている。農産物は現在分析中。

質問 健診を受診する事で将来を見据える事が出来るか。

答弁 登川市民部長 健診を受診された方は3か月後の来年3月に再検診を実施する。結果を見て、専門家の意見も伺って検討する予定。

二 台風被害と住環境の整備について  
質問 台風17号の本市被害状況を伺う。

答弁 榮野川副市長 救急搬送9件、住居全壊5件、床上浸水1件(平安座区)、停電戸数約4万件、自主避難16世帯36人。

答弁 島袋経済部長 農産物関連は約5千3百97万円、水産物関連は台風16号も併せ約1億6千万円。

質問 平安座区8207番地付近は長年冠水により、日常生活が脅かされている。今回の床上浸水の唯一の箇所でもある。市道18号線整備工事と併用して道路冠水対策が出来ないか伺う。

答弁 久田建設部長 市道18号線整備工事を行う際、排水路の機能を検討し、対策工事を行っていききたい。

質問 停電対策について、避難所である平安座自治会(コミュニティセンター)については停電が多い。停電が殆どない集落内からの配線変更が出来ないか。

答弁 榮野川副市長 災害対策上、重要な施設であり、今後沖縄電力に要請していく。

三 ハブ対策について  
質問 本市の被害状況と対応を伺う。

答弁 登川市民部長 平成23年咬症者数11件、通報件数134件、捕獲数38件、迅速な現場駆除、捕獲装置の設置依頼があれば、貸出等を行っている。

質問 治療費支給の執行状況と環境整備の勧告について。

答弁 登川市民部長 支給制度は周知不足で同制度の周知に努める。今後指導を強化し、必要により勧告も行う。

質問 捕獲装置の拡充について伺う。

答弁 登川市民部長 拡充に努めていききたい。

一 道路整備について  
質問 具志川環状線(県道224号線)の開通に伴う具志川花園幼稚園、川崎御山ぬ川橋交差点、厚生園付近交差点の信号機設置について伺う。

答弁 久田建設部長 平成24年11月12月にも中部土木事務所に対し、供用開始までには信号機設置を強く要請してきたが、地域の交通量等から信号機設置の優先順位が低く、設置は厳しいとの回答があった。

質問 川崎、天願両自治会は信号機設置が出来なければ開通には反対、開通式にも参加は出来ない」と表明。地元天願区も通る危険な各交差点について、市長の見解を伺う。

答弁 島袋市長 市としては使用開始後においても児童生徒、通勤通学の安全性を確保する意味から、引き続き強く信号機設置を要請していく。

質問 具志川環状線開通に伴い市民ドライバーが、道路が開通した事を認知し、周知徹底する間の一、二週間だけでも交通安全誘導員や交通安全パトロールカー等の要請が出来ないか。

答弁 登川市民部長 子供達の安全確保の為に、うるま署や交通安全協会とも連携して対応していく。

二 保育行政について  
質問 公立保育所において、本務教員の人件費が運営を圧迫している事は明らかである。本市においても一部業務が民営委託され職員の数削減、人件費削減に取り組んできた。

質問 公立保育所を民営化すれば募集定員数は変わらないし、大幅に人件費も削減される。浮いた予算を既存の保育園の増設に回せば定員の増員にも繋がる。旧具志川市で2カ所の保育所の内、1カ所を公設民営化し、今後の保育園運営業務に役立てていく考えはないか。

答弁 根路銘福祉部長 具志川地区にある公立保育所2カ所の民営化について、待機児童の状況及び幼稚園との連携等を踏まえ、ニーズ調査に基づき総合的に検討していく。

三 うるま市地震・津波防災避難訓練について  
質問 次回の避難訓練から、市内の県立高校も一緒に共同実施が出来る様に要請が出来ないか。

答弁 榮野川副市長 次回訓練実施の際に、更なる連携・協力が図れる様に検討していく。

※他に「市内広報紙について」、「うるま市「確かな学力の育成」の取り組みについて」、「就学前発達支援事業について」、「統合により廃校になった学校跡地の早期利用について」を質問しました。



又吉 法尚

- 一 道路整備について
- 二 保育行政について
- 三 うるま市地震・津波防災避難訓練について

市内に5カ所ある公立保育所を公設民営化する予定は。

答弁 根路銘福祉部長 平成25年度に市の子ども子育て会議を立ち上げ、公立保育所の民営化についても、その方向性と位置付けについて検討していく。

質問 公立保育所を民営化すれば募集定員数は変わらないし、大幅に人件費も削減される。浮いた予算を既存の保育園の増設に回せば定員の増員にも繋がる。旧具志川市で2カ所の保育所の内、1カ所を公設民営化し、今後の保育園運営業務に役立てていく考えはないか。

答弁 根路銘福祉部長 具志川地区にある公立保育所2カ所の民営化について、待機児童の状況及び幼稚園との連携等を踏まえ、ニーズ調査に基づき総合的に検討していく。

三 うるま市地震・津波防災避難訓練について  
質問 次回の避難訓練から、市内の県立高校も一緒に共同実施が出来る様に要請が出来ないか。

答弁 榮野川副市長 次回訓練実施の際に、更なる連携・協力が図れる様に検討していく。

※他に「市内広報紙について」、「うるま市「確かな学力の育成」の取り組みについて」、「就学前発達支援事業について」、「統合により廃校になった学校跡地の早期利用について」を質問しました。

うるま市議会では、各常任委員会の所管に関する事項について先進地に出向き、施策の状況を調査・視察を行い、今後の委員会及び議会活動に資することを目的とし、行政視察を行いました。（視察地・調査事項は下記の通りです。）



## 企画総務委員会

（平成24年10月24日～26日）



企画総務委員会 千葉県市川市役所

- 千葉県船橋市  
（公金徴収一元化について）
- 埼玉県朝霞市  
（総合窓口化事業について）
- 千葉県市川市  
（コンビニ交付サービス事業について）

## 建設委員会

（平成24年11月5日～7日）



建設委員会 愛知県犬山市役所

- 愛知県刈谷市（亀城公園整備事業について）
- 愛知県一宮市（治水対策について）
- 愛知県小牧市（治水対策について）
- 愛知県犬山市（歴史のまちのみちづくりについて）





# 行政視察

## 教育福祉委員会

(平成24年10月29日～31日)

○兵庫県豊岡市

(就学前の教育・保育について)

○兵庫県養父市

(あけのべ自然学校の開校・運営について)

○京都府福知山市

(のびのび福知っこ就学前発達支援事業について)



教育福祉委員会 京都府福知山市役所

## 市民経済委員会

(平成24年11月7日～9日)

○山口県宇部市

(①宇部市中小企業振興基本条例に関する取り組みについて)

(②うべ元気ブランド推進(認証)事業の取り組みについて)

○山口県萩市

(①萩市ふるさとツーリズム推進協議会の取り組みについて)

(②ふるさと萩回帰応援事業の取り組みについて)

○広島県三次市

(①三次市6次産品化推進事業の取り組みについて)

(②三次市農家民宿開業支援事業の取り組みについて)



市民経済委員会 山口県萩市役所

## 平成24年12月第74回うるま市議会（定例会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第10号	専決処分の報告について（公園内の事故）	市長	12月6日	報告
報告第11号	専決処分の報告について（田場小学校校舎増改築工事（建築1工区）） （変更増額：3,495,450円）	〃	〃	〃
報告第12号	専決処分の報告について（田場小学校校舎増改築工事（建築2工区）） （変更増額：2,266,950円）	〃	〃	〃
報告第13号	平成23年度うるま市教育委員会事務点検・評価の報告について	〃	〃	〃
報告第14号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第15号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第16号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	12月20日	適任
承認第5号	専決処分の承認について （平成24年度うるま市一般会計補正予算（第5号）） （補正額：31,870千円 補正後予算：49,847,097円）	〃	〃	承認
議案第66号	平成24年度うるま市一般会計補正予算（第6号） （補正額：719,401千円 補正後予算50,566,498千円）	〃	〃	原案可決
議案第67号	平成24年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） （補正額：2,455千円 補正後予算：19,327,797千円）	〃	〃	〃
議案第68号	平成24年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第2号） （補正額：6,237千円 補正後予算：8,047,898千円）	〃	〃	〃
議案第69号	平成24年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） （補正額：△580千円 補正後予算：2,468,501千円）	〃	〃	〃
議案第70号	指定管理者の指定について（うるま市みどり町児童センター）	〃	〃	〃
議案第71号	指定管理者の指定について（うるま市なかきす児童センター）	〃	〃	〃
議案第72号	指定管理者の指定について（うるま市いしかわ児童館）	〃	〃	〃
議案第73号	指定管理者の指定について（うるま市屋慶名児童館）	〃	〃	〃
議案第74号	指定管理者の指定について（うるま市宮城児童館）	〃	〃	〃
議案第75号	平敷屋漁港区域内公有水面埋立について （公有水面埋立法第3条第4項による提案）	〃	〃	〃
議案第76号	土地の取得について（ヌーリ川公園事業用地） （取得予定価格：202,714,402円）	〃	〃	〃
議案第77号	うるま市市道路線の廃止及び認定について	〃	〃	〃
議案第78号	伊波幼稚園増改築工事（建築）請負契約について （契約金額：167,790,000円）	〃	〃	〃
議案第79号	うるま市災害対策本部条例の一部を改正する条例 （災害対策基本法の一部改正に伴う条例改正）	〃	〃	〃
議案第80号	うるま市防災会議条例の一部を改正する条例 （災害対策基本法の一部改正に伴う条例改正）	〃	〃	〃



## 平成 24 年 12 月第 74 回うるま市議会（定例会）議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第81号	うるま市墓地等の経営許可等に関する条例 （「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による墓地、埋葬等に関する法律の一部改正に伴う条例）	//	//	//
議案第82号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 （うるま市墓地等の経営許可等に関する条例に規定するうるま市墓地等審議会委員の報酬を定めるための条例改正）	市長	12月20日	原案可決
議案第83号	うるま市津堅島介護保険地域密着型サービス施設条例の一部を改正する条例 （「地域支援ホーム津堅いこいの家」の定員を増員するための条例改正）	//	//	//
議案第84号	うるま市商工業研修等施設条例の一部を改正する条例 （うるま市商工業研修等施設を廃止することに伴う条例改正）	//	//	//
議案第85号	うるま市特別会計設置条例の一部を改正する条例 （沖縄振興公共投資交付金の創設に伴い、歳入に県支出金が生じたための条例改正）	//	//	//
議案第86号	うるま市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例 （「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による水道法の一部改正に伴う条例制定）	//	//	//
議案第87号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議について （地方自治法第252条の2第3項の規定による提案）	//	//	//
議案第88号	平成24年度うるま市一般会計補正予算（第7号） （補正額：286,759千円 補正後予算：50,853,257千円）	//	//	//

## 第8回うるま市生涯学習フェスティバル



## 27名の子ども議員が質問しました



去る12月26日(水)うるま市議会議場において、子ども議会が開催されました。27名の子ども議員が日常生活の中での疑問点、感じた点などを一般質問しました。その後、子ども議会宣言決議が可決されました。

### うるま市こども議会宣言決議

私たちは、今日「こども議会」で、私たちが住む「うるま市」について意見を出し合いました。今日出た、意見や提言は私たちが将来のうるま市のまちづくりについて、自ら考え、行動する機会となりました。

学校や社会において広い視野と洞察力を身につけ、うるま市を担う原動力になっていかなければなりません。

そのため、私たちの住むうるま市の自然や文化、福祉、行政などに一層関心を高め、色んなことを調べ、考え、知識を深めるとともに、自ら表現できる力を向上させていきます。

私たちうるま市こども議会は、市民の一人として、うるま市を愛しお互いの幸せを願い、一人ひとりが希望に満ちた魅力あるまちづくりに心がけ、次のことを宣言します。

- 一人ひとりが互いを尊重し思いやる、明るく健やかに過ごせる学校づくりをめざします。
- 自然や環境を大切にし、きまりを守り、こどもからお年寄りまで、安心できる、住みやすいまちづくりをめざします。
- 働く喜びを知り、自分の役割を果たす活力ある元気なまちづくりをめざします。
- 男女が互いに個性や適性を尊重し、責任を分かちあい、協力しあうまちづくりをめざします。
- うるま市の伝統・文化・歴史に誇りを持ち、市内外に発信し、うるま市を訪れる方々をあたたかく迎えるまちづくりをめざします。

以上決議します

平成24年12月26日

うるま市子ども議会